

**Palette for Win 400 Edition
Version 1.0**

Users Manual

©Logic Pack

<はじめに>

この度、Palette-400 をお買い上げいただきありがとうございます。

このコントロールソフトは弊社製 Palette-400 をご使用する場合に、パソコンと接続して使用するためのコントロールソフトです。これを使用することで、Windows95,98 で Palette-400 を使用することができるようになります。

<使用環境>

Windows95,98 が動作する環境(DOS/V、PC9801)

Palette-400 本体を接続できるパラレルポートがあるパソコン

(Windows3.1,NT4.0,2000 ではご使用できません)

<インストール方法>

フロッピー内部の Setup32.exe を実行してください。その後、メニューにしたがってインストールします。ご使用のときは、スタートメニュー上の「Palette for Win 400 Edition」を選択することで、実行できます。

<使用上の注意>

最初の起動時にパラレルポートを聞いてきますので、あらかじめ調べておいてください。調べるには、

1. 「マイコンピュータ」で右クリックし、プロパティを選択
2. 「デバイスマネージャー」を開き、ポートの LPT のプロパティを見ます
3. 「リソース」の I/O ポートアドレスを調べます

また、本説明書は「Palette-400 ユーザーズマニュアル」を熟読したことを前提に話を進めます。アドレスなどに関する部分は「Palette-400 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

操作方法

「Palette for Win」起動時には以下の画面が表示します。



<メニューバー>

メニューは以下の構成になっています。必要に応じた機能を選択してください。

ファイル(F)

新規作成(N)
読み込み(O)
上書き保存(S)
名前をつけて保存(A)
終了(X)

編集(E)

アドレス(A)
サーチ(S)
フィル(F)
コピー(P)
ムーブ(M)
リバース(R)
クリア(C)
バッファ編集終了(X)

デバイス(D)

デバイス選択
ブランクチェック(B)
書き込み(W)
読み込み(R)
プログラム(P)
比較(C)
イレース(EEPROM,FLASHのみ)

オプション(O)

通信確認
各種設定

ヘルプ(H)

バージョン情報(A)

コマンドの説明

ファイル(F)

- 新規作成(N)
- 読込(O)
- 上書き保存(S)
- 名前を付けて保存(A)
- 終了(X)

[ファイル(F) | 新規作成(N)] コマンド



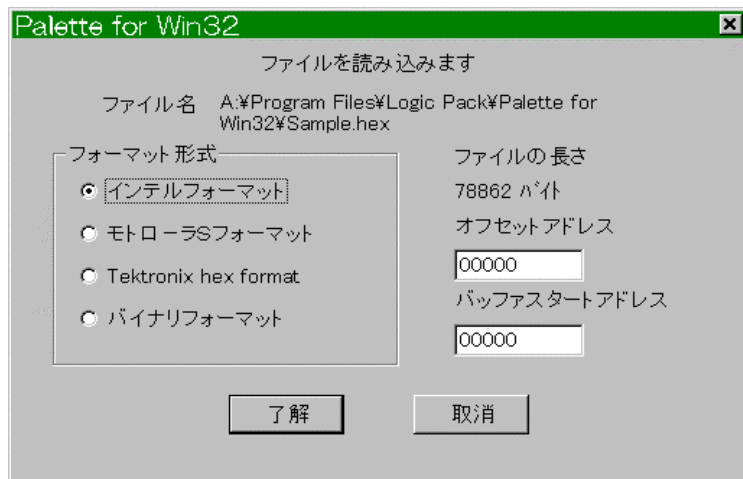
ファイルを新しく作成します。タイトルバーには "Palette for Win 400 Edition-(NOTHING)" と表示されます。

[ファイル(F) | 読込(O)] コマンド



ファイルをオープンします。タイトルバーには "Palette for Win 400 Edition-(ファイル名)" と表示されます。

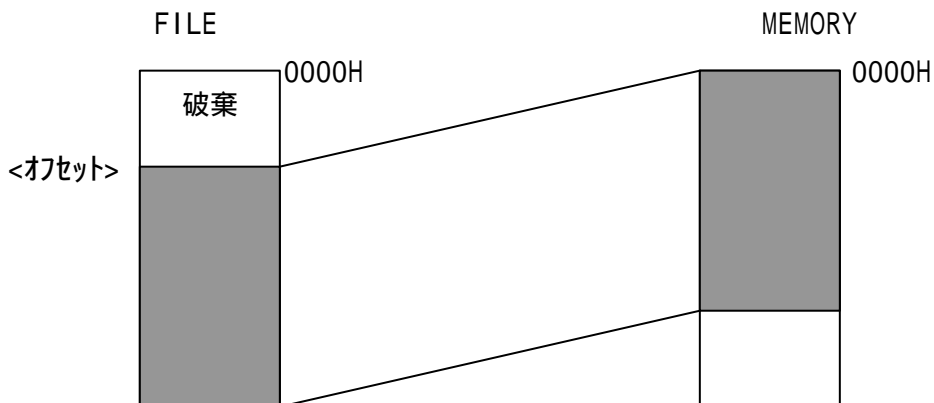
ファイルを指定した後、次のウィンドウが表示されます。



読み込むファイルがどのフォーマット形式か、オフセット、バッファスタートアドレスを指定した後、了解をクリックします。

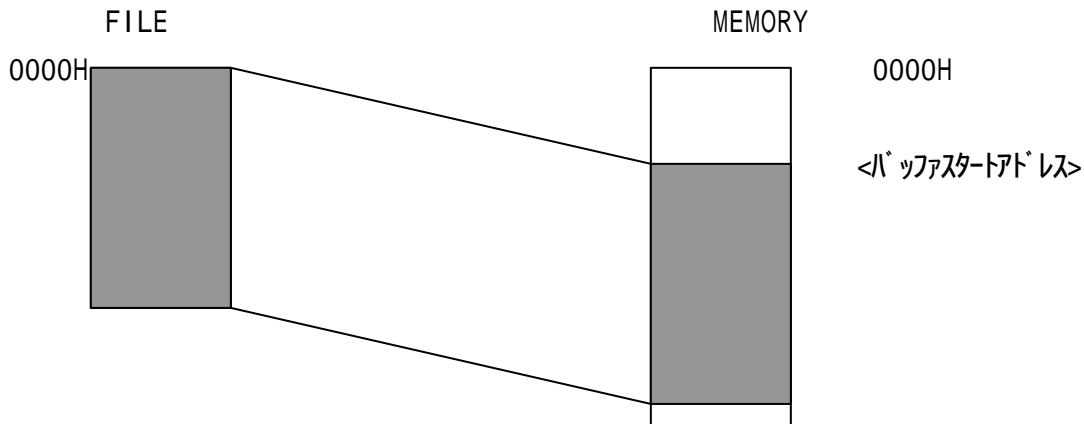
オフセットアドレス

バイナリーフォーマット以外のフォーマット形式にはアドレス情報も含んでいます。このアドレスを利用して、指定したアドレスからデータを読み込む場合にオフセットアドレスを指定します。バイナリーの場合は、最初をアドレス0Hとして扱います。



バッファスタートアドレス

データをどのアドレスに入れるかを指定します。



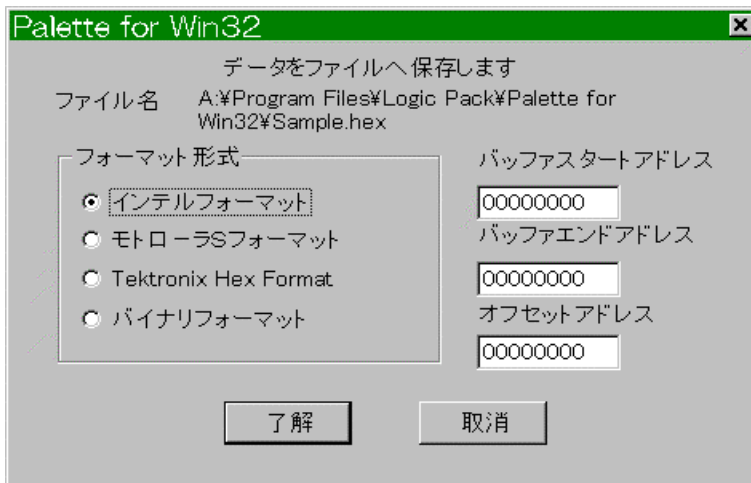
[ファイル(F) | 上書き保存(S)] コマンド



バッファにあるデータをファイルに保存します。新規作成の場合は名前を付けて保存と同じ内容になります。

[ファイル(F) | 名前を付けて保存(S)] コマンド

新しいファイルの名前と保存場所を指定した後、以下のウインドウが開きます。



ここで、フォーマット形式とバッファスタートアドレス、バッファエンドアドレス、オフセットを指定します。指定後、了解を押してください。

[ファイル(F) | 終了(X)] コマンド

本コントロールソフトを終了します。

編集



[編集(E)] コマンド

このコマンドを実行すると次のような画面が表示されます

```
バッファ編集
バッファ編集(E)
00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 0A 0B 0C 0D 0E 0F
00000000 3E 44 4F 3E FF 5F ED 59 01 FF 1F 0B 78 B1 C2 0B >D0>._.Y....x...
00000010 00 31 00 00 C3 FA 47 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .1....G.....
00000020 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000030 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000040 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000050 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000060 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000070 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000080 90 00 A0 00 B0 00 C0 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
00000090 F5 C5 D5 E5 CD E0 47 E1 D1 C1 F1 FB ED 4D 00 00 .....G.....M..
000000A0 F5 C5 D5 E5 CD E1 47 E1 D1 C1 F1 FB ED 4D 00 00 .....G.....M..
000000B0 F5 C5 D5 E5 CD EA 47 E1 D1 C1 F1 FB ED 4D 00 00 .....G.....M..
000000C0 F5 C5 D5 E5 CD EE 47 E1 D1 C1 F1 FB ED 4D 00 00 .....G.....M..
000000D0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
000000E0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
000000F0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 .....
```

このウィンドウでバッファの内容を修正したり 調べたりすることができます。

・バッファ編集ウィンドウでのキー操作

矢印キー (カーソルキー)	点滅しているカーソルを上下左右1つずつ移動します。
[ROLL DOWN] (PAGE UP)	現在の左上のアドレスを100H分低いアドレスに移動します。
[ROLL UP] (PAGE DOWN)	現在の左上のアドレスを100H分高いアドレスに移動します。

バッファ編集(E)

アドレス(A)

サーチ(S)

フィル(F)

コピー(P)

ムーブ(M)

リバース(R)

クリア(C)

バッファ編集終了(X)

[バッファ編集(E) | アドレス(A)]コマンド

指定したアドレスに移動

[バッファ編集(E) | サーチ(S)]コマンド

指定した範囲内のデータを検索しそのアドレスに移動

[バッファ編集(E) | フィル(F)]コマンド

指定した範囲内を任意のデータで埋め尽くす

[バッファ編集(E) | コピー(P)]コマンド

指定した範囲を指定場所にコピー

[バッファ編集(E) | ムーブ(M)]コマンド

指定した範囲を指定場所に移動、元の部分は"FF"になる

[バッファ編集(E) | リバース(R)]コマンド

指定した範囲内のデータをビット反転

デバイス

デバイス操作(D)

デバイス選択(S)

ブランクチェック(B)

書き込み(W)

読み込み(R)

プログラム(P)

比較(C)

イレース(EEPROM, FLASHのみ) (E)

[デバイス(D) | デバイス選択] コマンド



使用するデバイスを選択します。

デバイスの設定

データバス <input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> 8ビットバス <input type="radio"/> 16ビットバス	メーカー AMD TI SGS-THOMSON 日立 富士通 NEC 三菱 未定	デバイス TMS2732A M2732A MBM27C32A 2732A uPD2732A MBM2732A HN482732A Am2764 Am2764A Am27C64 TMS27C64 M2764A M27C64A M5L2764 uPD27C64 HN27C64 uPD2764 TMM2764 HN482764
種類 <input checked="" type="radio"/> 指定しない <input type="radio"/> EP-ROM <input type="radio"/> FLASH <input type="radio"/> EEP-ROM	容量 32Byte (256bit) 64Byte (512bit) 128Byte (1kbit) 256Byte (2kbit) 512Byte (4kbit) 1kByte (8kbit) 2kByte (16kbit) 4kByte (32kbit) 8kByte (64kbit) 16kByte (128kbit)	<input type="button" value="決定"/> <input type="button" value="取消"/>
オートセレクト <input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> BYTE <input type="radio"/> WORD <input type="radio"/> BYTE/WORD		

デバイスを選択します。デバイスの選択には、大きく分けて2通りあります。1つは、型番を検索して選択する方法 (マニュアルセレクト)。もう1つは、オートデバイスセレクトです。


マニュアルセレクト

メーカー、データバス、種類、容量で絞り込みが可能で、デバイスの欄から1つを選択します。

オートデバイスセレクト

デバイスに記録されているコードを読み込んで、自動的にデバイスを選択する方法です。この方法は、デバイスが対応している必要があり、すべてのデバイスが可能であるわけではありません。また、デバイスのタイプをあらかじめ指定する必要があり、間違えた場合などはデバイス破壊の原因にもなりますので、注意が必要です。オートセレクト欄の任意を選択し、決定ボタンを押すと直ちに実行しますので、決定ボタンを押す前にデバイスをセットしてください。


デバイス選択に成功すれば、メイン画面のツールバーに選択したデバイス名が表示されます。

	[デバイス(D) ブランクチェック (B)]コマンド デバイスの内容が消去しているかどうかを調べます。
---	---

ブランクチェックでエラーになる場合は再度イレース(データ消去)する必要があります。

注意


デバイスがすでに壊れている場合でもブランクチェックがOKになってしまうことがあります。ブランクチェック OK のデバイスでも書き込みできない場合はデバイスを新品と交換する必要があります。

	[デバイス(D) 読み込み (R)]コマンド デバイスの内容をバッファに読み込みます。
--	---

読み込み後チェックサムが表示されますので、正常に読み込んだかのチェックに便利です。

注意

バッファの内容に直接上書きされます。よって、すでに何らかのデータがバッファ内にある場合は、必要に応じてファイルに保存する必要があります。


	[デバイス(D) 書き込み (W)]コマンド バッファの内容をデバイスに書き込みます。
---	---

バッファの内容をデバイスに書き込みます。

注意

書き込む場合は現在選択しているデバイスが本当に一致していることを確認してください。間違ったデバイスを選択している場合(特に容量が違う場合)に書き込みを行うとデバイスを破壊してしまいます。

[デバイス(D) | プログラム(P)]コマンド



指定した動作を一括して行います。

このプログラム(オート処理)では、あらかじめ決めておいた動作を一括して実行します。動作の設定はオプション(後記参照)で行います。

デバイスがイレース可能(電氣的消去が可能)であれば、イレースを実行できます。

イレース ブランクチェック、プログラム、ベリファイを選択可能です。

[デバイス(D) | 比較(C)]コマンド

バッファの内容とデバイス内容を比較、チェックします。

違う場合はそのアドレスとバッファ、デバイスのデータを表示します。

[デバイス(D) | イレース(E)]コマンド

デバイスの内容を消去します。

EEPROM や FLASHなどをイレース内容を消去)します。通常のEPROMなど電氣的消去ができないデバイスには使用できません。

・ 範囲の設定

書き込み

選択デバイス情報

デバイス最終アドレス	00FFFF H
デバイスバス幅	16 (WORD)
バッファ選択	ALL
ワードデバイス配置	EVENHIGH

デバイス範囲設定

デバイススタートアドレス	<input type="text" value="00000000"/>
デバイスエンドアドレス	<input type="text" value="0000FFFF"/>

バッファ範囲設定

バッファスタートアドレス	<input type="text" value="00000000"/>
--------------	---------------------------------------

書き込みや読み込み、比較、ブランクチェック、プログラムを選択すると範囲を問い合わせてきます。必要の部分を変更後、了解を押してください。

オプションで設定した内容が表示されますので、設定の参考にしてください。

デバイスのアドレス設定の詳細は、「Palette-400 ユーザーズマニュアル」を参照してください。

オプション

ここでは、通信が出来ていないときにパラレルポートの設定やワードROM を選択しているときに使用するワードタイプの設定や、バッファタイプの設定などを行います。選択すると次のようなウィンドウが表示されます。

通信確認

オートモード設定

- イレース実行(EPROMを除く)
- ブランクチェック実行
- ベリファイ実行

ワードタイプ設定

EVENLOW EVENHIGH

バッファタイプ設定

ALL EVEN ODD

その他の設定

ブランクライト

紫外線イレース時間 120 秒

ブランクデータ FF H

OK 取消

・通信確認

通信ができていない場合やポートを変更した場合にボタンを押します。設定ダイアログが表示されます。

ここでの設定は、Palette 本体の設定に影響しません(単独動作時)。本体の設定は、電源再投入で以前の状態に復帰します。

オートモード設定

オートモード(プログラム)を実行する場合に、どれを実行するかを選択します。任意の項目をチェックしてください。

ワードタイプの設定

ワードデバイスを使用する場合に、偶数アドレスを下位に持っていか、上位にするかを選択できます。

バッファタイプの設定

対象となるバッファの有効アドレスを設定します。通常は ALL で、EVEN (偶数)もしくは ODD (奇数)を選択すると対象がそのアドレスだけになります。

16ビットバスのプログラムを2つの8ビットROMに書き込みたいとき等に使用します。

ブランクライト

通常すべて消去されているデバイスは“FF”で埋まっているので、データが“FF”の場合のみそのアドレスをスキップします。“FF”のデータも普通のデータ同様書き込み処理を実行したい場合にチェックします。チェックすると“FF”をスキップしない分書き込み時間が延びます。

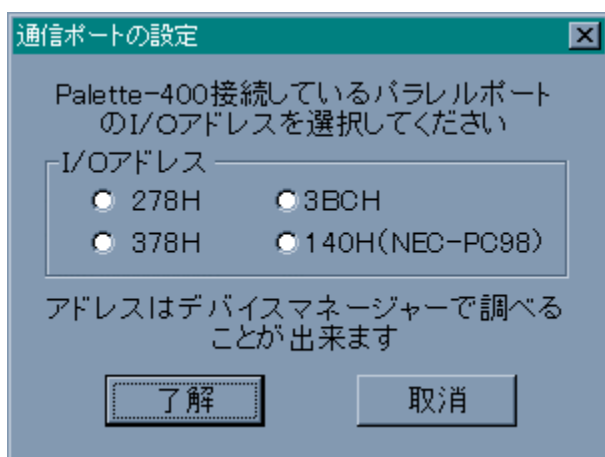
紫外線イレース時間

本体右側面に設置されている紫外線レーザーの動作時間を設定します。999秒まで設定可能です。

ブランクデータ

バッファ内容のブランクデータを指定できます。プログラム動作時やバッファクリア時にこ

・通信設定



ご使用になるパラレルポート(プリンタポート)を指定してください。違うポートを選択した場合は、Palette-400 との通信ができません。通信が確認できれば、エラーメッセージボックスは表示されません。

バージョン情報

バージョン情報には、『Palette for Win 400 Edition』のバージョン情報と Palette-400 本体のバージョン情報、シリアルナンバーが表示されています。サポートを受けるときに必要になります。

<ご使用に関するの問い合わせとバージョンアップ>

ご使用に当たって、使い方が良く分からない場合などは FAX または TEL をお願いします。

バージョンアップに関しては TEL もしくは FAX でも伺いますが、ホームページにアクセスすることで最新のプログラムをダウンロードできます。ご利用ください。

「 Palette for Win 400 Edition 」

ユーザーズマニュアル

初版作成 2000.1.12

発行 (株)ロジパック

〒438-0078 静岡県磐田市中泉 1803-1

FAX 0538-34-1082

Email: support@logicpack.co.jp

http://logicpack.co.jp/